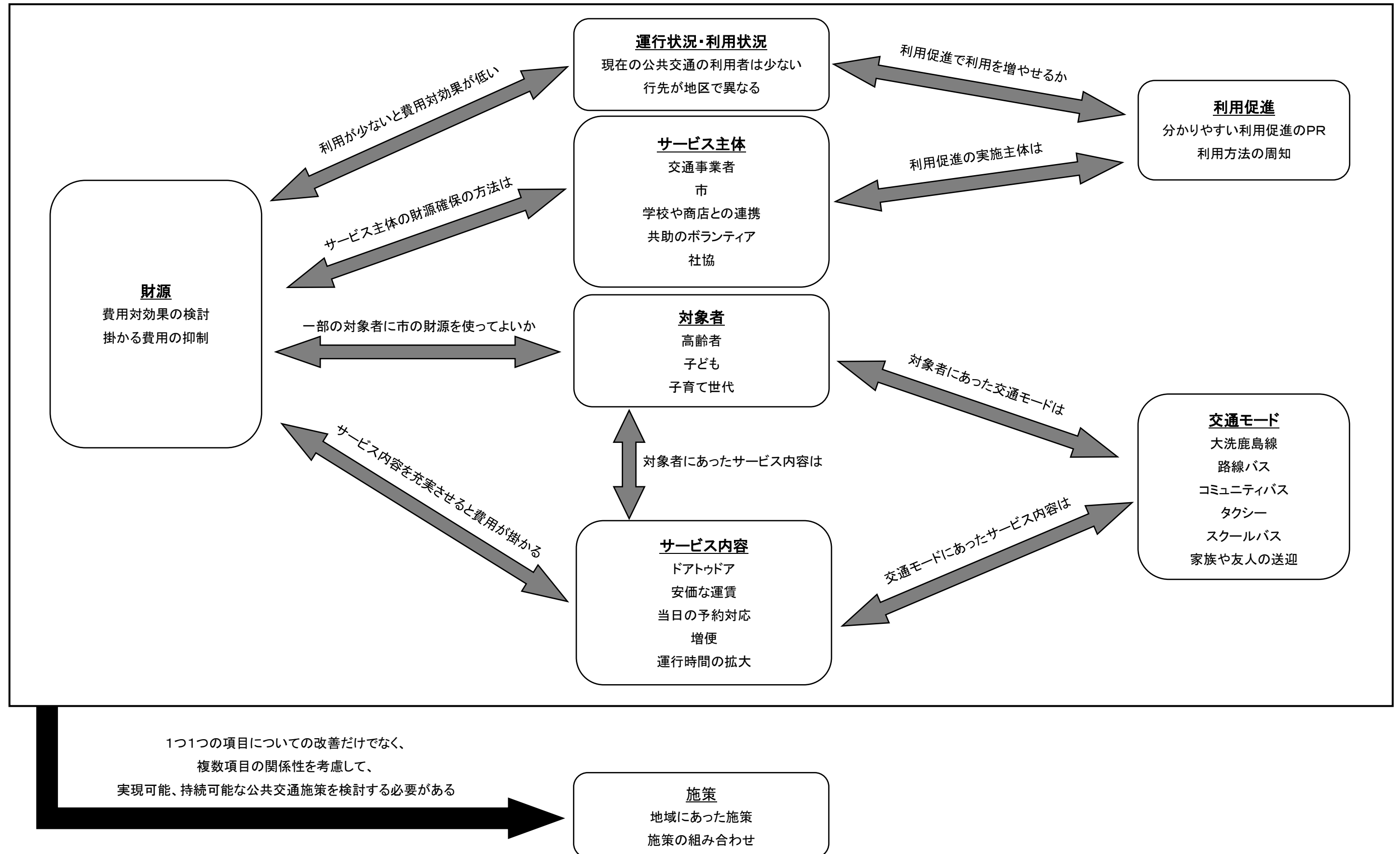


意見交換

<項目ごとの関係性と検討事項>



＜鉾田市での導入イメージ＞

	A案)コミュニティバス	B案)乗合タクシー	C案)共助による移送システム＋乗合タクシー	D案)大洗鹿島線の活用＋タクシー助成券の配布
特徴	◎定時定路線のコミュニティバスが運行 ◎既存駅や既存バス停と接続し、乗り継げるようにする	◎全市を乗合タクシーでカバー	◎共助による移送システムと乗合タクシーの組み合わせで効率的に移動	◎大洗鹿島線の駅からタクシー助成券を利用して目的地まで移動
イメージ図				
課題	△自宅からバス停までの移動が困難な方は利用できない △既存バスは乗車率が低い △鉾田市は可住地が広く、公共交通空白地域全域を巡るルートの設定が困難 △市等の補助による運行が想定される	△乗車前に予約が必要 △運行頻度が低いと希望時間に予約できないことがある △タクシー会社に運行を委託する場合、市内タクシー事業者は旭地区にはない △市等の補助による運行が想定される	△地域住民の協力が必要 △市等の補助による運行が想定される	△自宅から駅まで、目的地から駅までの移動手段の確保が必要 △駅以外からタクシーを利用する場合は迎車料金がかかる △タクシー助成券に必要な経費は市等の補助によることが想定される
意見・アイデア	・コミュニティバスと乗合タクシーの利点を組み合わせ、ルール設定することが望ましい。 ・スクールバスを活用してコミュニティバスにしてはどうか。	・コミュニティバスと乗合タクシーの利点を組み合わせ、ルール設定することが望ましい。 ・乗合自動車のエリア拡大(市全域)及び年齢制限の撤廃が現実的。 ・高齢者にはドアトゥドアのシステムが必要。 ・当日の予約が出来ないなど使用しづらい。 ・乗合タクシーは運行本数が増えれば利便性が向上し、利用者も増えると思う。	・細かく回れるので効率的。需要はあると思う。 ・社協等がボランティアとして運行してくれると良い。 ・地域の繋がりが希薄化し、共助の危機を懸念。 ・大洋地区では、共助として近所の仲の良い人が送迎を行っているケースがある。 ・高齢者にはドアトゥドアのシステムが必要。 ・乗合タクシーは当日の予約が出来ない等使用しづらい。 ・乗合タクシーは運行本数が増えれば利便性が向上し、利用者も増えると思う。	・タクシー利用助成とデマンドとの組み合わせは難しい。デマンドへの移行までの暫定利用としてはどうか。 ・高齢者にはドアトゥドアのシステムが必要。

テーマ① 導入すべき公共交通施策の内容について

交通弱者（高齢者、子ども、障害者、免許を持たない方等）の自宅や目的地から既存の鉄道駅やバス停までの移動、または、公共交通空白地域※における市内への移動について、グループごとに公共交通施策の内容を検討してください。

※ 公共交通空白地域 既存バス停から離れている地域、鉄道駅から離れている地域。

グループ1 自宅や目的地から既存の鉄道駅やバス停までの移動について				
交通手段		コミュニティバス（自宅～最寄り駅、最寄り駅～目的地の短距離利用）	タクシー助成券の利用	共助による移送システム
運行区間		（例：運行区間は〇〇から〇〇経由で〇〇、鹿島灘駅へ運行） ・免許返納者や高齢者の多い場所を結ぶ ・観光地へ運行	（例：利用区間は〇〇～〇〇、利用エリアは△△地区内）	（例：運行区間は〇〇～〇〇）
サービス内容	運行方法	停留所～停留所	ドアトゥドア	ドアトゥドア ・ 停留所～停留所
	利用方法・ 利用対象	（例：予約なしで誰でも乗車）	（例：〇歳以上と子育て世帯対象、タクシー助成券を運賃支払時に運転手に渡す）	（例：当日の予約で乗車、地区外の方も利用可能）
	運賃	（例：定期券・回数券の販売、〇〇～〇〇区間で乗車した場合△△円）	（例：タクシー助成券は〇〇円分を1人△枚配布）	（例：ガソリン代実費負担）
	時間帯	（例：早朝〇時から夜〇時までの運行、鉄道と乗り継げる時刻にする）	（例：早朝〇時から夜〇時まで利用可能）	（例：〇時から〇時までの運行）
	運行便数	（例：1日△便運行、〇時台は△分間隔）		（例：1日△便運行、〇時台は△分間隔）
サービス主体		バス事業者	タクシー事業者	社協 ・ 住民ボランティアと市の協働
				住民ボランティアと市の協働の場合、市が車両・保険を用意し、地域で運用していくことが考えられる。
市の財政負担		比較的高い	比較的低い	比較的低い
		銚田市は可住地が広く、広範囲を網羅するには複数ルートを設定する必要がある。	利用されたタクシー助成券と同額の費用負担となる。 配布枚数や配布金額、利用率によって変わる。	車両を用意するための初期費用が大きくなるが、その後は維持費用のみとなる。
利用促進策 （必要なものに○ を付けてください）		バス停の設置 ・ 乗り方教室 ・ ホームページの充実 ・ 広報 ・ 路線図の配布 ・ 学校との連携 ・ 商業施設との連携 ・ その他	使い方教室 ・ ホームページの充実 ・ 広報 ・ タクシーの予約先の案内配布 ・ 商業施設との連携 ・ その他	バス停の設置 ・ 乗り方教室 ・ ホームページの充実 ・ 広報 ・ 路線図の配布 ・ 学校との連携 ・ 商業施設との連携 ・ その他
		（例：〇〇に停留所を置く、学校で乗り方教室、商業施設と〇〇をして連携）	（例：地区ごとに使い方教室、商業施設と〇〇をして連携）	（例：地区ごとに使い方教室）
その他の意見		（例：新銚田駅のエレベーター設置）	（例：1人乗車は迎車料金もかかり運賃が高いため、近所の人と利用すると良い） ・デマンド型乗合タクシーへ移行するまでの暫定利用としてはどうか	（例：ボランティアを集めるために〇〇をすると良い）

グループ2 公共交通空白地域における市内への移動について				
交通手段		コミュニティバス（自宅～目的地の長距離利用）	乗合タクシー	共助による移送システム
運行区間		（例：運行区間は〇〇から〇〇経由で〇〇、鹿島灘駅へ運行）	（例：運行区域は△△地区内）	（例：運行区間は〇〇～〇〇）
サービス内容	運行方法	停留所～停留所	ドアトゥドア ・ 停留所～目的地	ドアトゥドア ・ 停留所～停留所
	利用方法・利用対象	（例：予約なしで誰でも乗車）	（例：地区外に行くときは乗継、〇歳以上対象） ・当日の予約で乗車 ・年齢制限なし	（例：当日の予約で乗車、地区外の方も利用可能）
	運賃	（例：定期券・回数券の販売、〇〇～〇〇区間で乗車した場合△△円）	（例：子育て世帯の割引、〇〇～〇〇区間で乗車した場合△△円） ・低所得者は安価な運賃	（例：ガソリン代実費負担）
	時間帯	（例：早朝〇時から夜〇時までの運行、鉄道と乗り継げる時刻にする）	（例：〇時から〇時まで利用可能）	（例：〇時から〇時までの運行）
	運行便数	（例：1日△便運行、〇時台は△分間隔）	（例：1日△便運行、〇時台は△分間隔）	（例：1日△便運行、〇時台は△分間隔）
サービス主体		バス事業者	バス事業者 ・ タクシー事業者	社協 ・ 住民ボランティアと市の協働
				住民ボランティアと市の協働の場合、市が車両・保険を用意し、地域で運用していくことが考えられる。
市の財政負担		比較的高い	中くらい	比較的低い
		鉾田市は可住地が広く、広範囲を網羅するには複数ルートを設定する必要がある。長距離ルートは経費が大きくなる。	専用車両で運行する場合財政負担は大きくなる。一般タクシーとの併用により負担を抑えることも可能。	車両を用意するための初期費用が大きくなるが、その後は維持費用のみとなる。
利用促進策 （必要なものに○を付けてください）		バス停の設置 ・ 乗り方教室 ・ ホームページの充実 ・ 広報 ・ 路線図の配布 ・ 学校との連携 ・ 商業施設との連携 ・ その他	使い方教室 ・ ホームページの充実 ・ 広報 ・ 乗合タクシーの予約先の案内配布 ・ 商業施設との連携 ・ その他	バス停の設置 ・ 乗り方教室 ・ ホームページの充実 ・ 広報 ・ 路線図の配布 ・ 学校との連携 ・ 商業施設との連携 ・ その他
		（例：〇〇に停留所を置く、学校で乗り方教室、商業施設と〇〇をして連携）	（例：〇〇に停留所を置く、地区ごとに使い方教室、商業施設と〇〇をして連携）	（例：地区ごとに使い方教室）
その他の意見		（例：新鉾田駅のエレベーター設置）	（例：乗合人数を増やすために近所の人と一緒に予約すると良い）	（例：ボランティアを集めるために〇〇をすると良い）

大洗鹿島線、高速バス、路線バスでの市外への移動については、改善のアイデアがありましたら出してください。

その他 市外への移動について		
交通手段	大洗鹿島線 ・ 高速バス ・ 路線バス	
運行区間	(例：運行区間は〇〇から〇〇経由で〇〇、大洗町や鹿嶋市のコミュニティバスとの連携)	
サービス内容	運行方法	停留所～停留所
	利用方法・利用対象	(例：予約なしで誰でも乗車)
	運賃	(例：定期券・回数券の販売、〇〇～〇〇区間で乗車した場合△△円)
	時間帯	(例：早朝〇時からの運行、夜〇時までの運行)
	運行便数	(例：1日△便運行、〇時台は△分間隔)
サービス主体	鉄道事業者 ・ バス事業者	
市の財政負担	比較的高い 運行経費の赤字分を負担している。	
利用促進策 (必要なものに○を付けてください)	バス停の設置 ・ 乗り方教室 ・ ホームページの充実 ・ 広報 ・ 路線図の配布 ・ 学校との連携 ・ 商業施設との連携 ・ その他 (例：〇〇に停留所を置く、学校で乗り方教室を実施)	
その他の意見	(例：新鉾田駅のエレベーター設置)	

テーマ② 銚田市での導入イメージについて

意見交換の意見を踏まえ、様々な観点から4案を比較してください。意見がある場合は意見欄に記入してください。その後、各施策を銚田市に導入する場合の導入時期や導入方法等について検討してください。

		A案)コミュニティバス	B案)乗合タクシー	C案)共助による移送システム＋乗合タクシー	D案)大洗鹿島線の活用＋タクシー助成券の配布
特徴		◎定時定路線のコミュニティバスが運行 ◎既存駅や既存バス停と接続し、乗り継げるようにする	◎全市を乗合タクシーでカバー	◎共助による移送システムと乗合タクシーの組み合わせで効率的に移動 ◎共助による移送システムで乗合タクシー運行時間外や乗合タクシーの乗り場までの移動も可能になる	◎大洗鹿島線の駅からタクシー助成券を利用して目的地まで移動
評価内容	効率性 <small>（1台あたりの乗車人数）</small>	普通 乗車率が高いと効率性が良い。乗車率が低いと効率性が悪くなる。	普通 乗合人数が多くなると効率性が高い。1人乗車が多いと効率性が悪くなる。	比較的高い 共助による移送システムで乗合タクシーの乗り場まで移動することで、乗合タクシーのルートを集中させることができ、高頻度の運行が可能となる。乗合タクシー運行時間外の移動需要にも共助による移送システムで対応することが考えられる。	比較的低い タクシーは個人での利用のため、効率性が低い。大洗鹿島線の利用は長距離移動の効率性が高い。
		比較的高い 銚田市は可住地が広く、広範囲を網羅するには複数ルートを設定する必要があり、運行経費がかかる。	普通 専用車両で運行する場合財政負担は大きくなる。一般タクシーとの併用により負担を抑えることも可能。	普通 共助による移送システムは、車両を用意するための初期費用が大きくなるが、その後は維持費用のみとなる。別途乗合タクシーの費用がかかる。	比較的低い 利用されたタクシー助成券と同額の費用負担となる。配布枚数や配布金額、利用率によって変わる。
	移動しやすさ	移動しにくい 停留所から停留所までの移動手段であり、停留所までの移動が必要。	移動しやすい 自宅や自宅付近から目的地までの移動が可能。乗合のため、迂回して所要時間がかかる。運行時間帯に合わせ、余裕を持った行動が必要。	とても移動しやすい 自宅や自宅付近から目的地までの移動が可能。共助による移送システムで乗合タクシー運行時間外や乗り場までの移動も可能になる。	移動しやすい タクシーで自宅から移動可能。大洗鹿島線の駅で乗り換えが必要となるため、鉄道の時刻に合わせた行動が必要。
		長期 可住地の広い銚田市内を運行する複数ルートの検討が必要。また、コミュニティバスの車両の調達が必要なため、実現までに長期間要する。	中期 大洋地区で乗合自動車を実施しているためノウハウがある。中期で着手可能。	中期～長期 共助による移送システムは住民ボランティアの協力が必要。市と住民ボランティアとの調整が必要なため、中期間～長期間で着手可能。	短期 タクシー助成券の配布は比較的短期間で着手可能。
	実現可能性	長期 可住地の広い銚田市内を運行する複数ルートの検討が必要。また、コミュニティバスの車両の調達が必要なため、実現までに長期間要する。	中期 大洋地区で乗合自動車を実施しているためノウハウがある。中期で着手可能。	中期～長期 共助による移送システムは住民ボランティアの協力が必要。市と住民ボランティアとの調整が必要なため、中期間～長期間で着手可能。	短期 タクシー助成券の配布は比較的短期間で着手可能。
		長期 可住地の広い銚田市内を運行する複数ルートの検討が必要。また、コミュニティバスの車両の調達が必要なため、実現までに長期間要する。	中期 大洋地区で乗合自動車を実施しているためノウハウがある。中期で着手可能。	中期～長期 共助による移送システムは住民ボランティアの協力が必要。市と住民ボランティアとの調整が必要なため、中期間～長期間で着手可能。	短期 タクシー助成券の配布は比較的短期間で着手可能。
	意見				
	総合評価 導入時期・導入方法	(例)・自宅から公共交通の乗り場までの距離が遠い地域が広範囲に広がるため、自宅から目的地まで運行する乗合タクシーが望ましい。 ・乗合タクシーと併せて運行時間外の移動需要にも対応できる共助による移送システムの構築が望ましい。 ・乗合タクシーの導入までの期間の交通弱者の移動手段としてタクシー助成券の配布が望ましい。 ・人口密度が高く、バス運行ニーズが高い地域の場合は、乗合タクシーより効率がいいコミュニティバスが望ましい。ただし、十分な実証運行調査が必要。			